

研究に関する情報公開

＜人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針＞に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者※の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧いただくことができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には試料・情報を使用いたしませんので、その際は下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

＜研究課題名＞ 当科における精巣上体炎に対する抗菌薬投与期間についての検討
＜研究機関・研究責任者名＞ 日本大学医学部附属板橋病院 小児外科 （研究責任者）渡邊揚介
＜研究期間＞ 機関の長の初回許可日 ～ 令和 9（西暦 2027）年 3 月 31 日
＜対象となる方＞ 西暦 2015 年 1 月から 2024 年 12 月までに当院当科で精巣上体炎と診断し、治療を受けた 15 歳未満の方
＜研究の目的＞ 小児精巣上体炎は、乳児期や思春期に急な陰嚢痛や腫れを生じる病気です。精巣捻転（精巣がねじれること）との鑑別を要するため発症早期に診断することが重要ですが、その原因は十分に解明されていません。一般的に細菌感染が原因とされているため治療には抗菌薬を使用しているものの、抗菌薬の種類や投与期間を適切に決めることが重要です。 この研究は、当科で診断し治療した精巣上体炎の患者さんについて、その症状・治療経過や抗菌薬の種類・治療期間を比較することで、より適切な治療選択について検討することを目的としています。
＜研究の方法＞ 対象期間に当科で精巣上体炎と診断し治療を行った 15 歳未満の方を対象とします。これらの患者さんについて、診療録（カルテ）から発症時の症状や診断根拠や治療までの時間、使用した抗菌薬とその使用期間を調査します。調査した内容を統計学的に分析し、抗菌薬の適切な使用期間を検討します。
＜研究に用いる試料・情報の項目＞ ●身体所見：年齢・患側・症状・発症時間帯・陰嚢の診察所見 ●検査所見：超音波検査所見・尿検査施行の有無および所見 ●治療経過：症状が改善した期間・使用した抗菌薬の種類・投与期間（初回投与期間・総投与期間）
＜お問い合わせ窓口＞ 日本大学医学部附属板橋病院（東京都板橋区大谷口上町 30 番 1 号） 小児外科 氏名：渡邊揚介 電話：03-3972-8111（代表） 内線：（小児外科医局）2452 （PHS）8166

※研究対象者とは、以下に該当する方（死者を含む。）を指します。

①研究を実施される方

②研究に用いられることとなる既存試料・情報を取得された方